

平成25年度 第4回富里市教育委員会定例会議会議録

富里市教育委員会

- 1 期 日 平成25年7月24日(水)
開会 午後2時
閉会 午後4時24分
- 2 場 所 本庁舎3階第3会議室
- 3 出席委員 委 員 長 河 田 厚 子
委員長職務代理者 武 井 勝 彦
委 員 佐々木 浩 二
委 員 森 田 惠 子
教 育 長 國 本 與 一
- 4 出席職員 教 育 次 長 小 野 祐 一 郎
教 育 総 務 課 長 高 須 利 幸
学 校 教 育 課 長 滝 口 次 郎
学 校 給 食 中 心 所 長 大 木 正 吾
生 涯 学 習 課 長 榊 原 孝
図 書 館 長 根 本 優
- 5 事務局職員 教育総務課課長補佐 中 津 義 孝

平成25年8月27日

署 名 人

署 名 人

会議録作成人

1 委員長開会宣言

河田委員長 平成25年度第4回富里市教育委員会定例会議を開会する。

2 前回会議録の承認

平成25年度第3回定例会議会議録承認

(署名人：佐々木委員，國本教育長)

3 教育長報告

- ・ 幼稚園，小・中学校が無事に夏休みを迎えることができ感謝する。
- ・ 6月28日は，第2部会なかよし交流会が中台運動公園体育館で行われた。市内の特別支援学級の児童，生徒が元気に参加していた。
- ・ 7月1日は，校長会議が行われた。
- ・ 7月2日は，根木名小学校の児童が30周年記念事業で育てた鉢花20鉢を届けてくれ，公民館の玄関に飾った。
- ・ 7月6日は，印旛郡市民体育大会の総合開会式が白井市で行われた。総合閉会式は8月24日に行われる。柔道競技が優勝し，総合成績は暫定ではあるが，現在のところ第3位である。
- ・ 7月7日は，第1回まちづくりふれあいミーティングが開かれた。教育関係の意見はなかった。
- ・ 7月8日は，美しい木戸川を守る会放流事業が芝山町で行われ，浩養小学校全児童が参加し，ふな，どじょうを放流した。
- ・ 7月11日は，社会教育委員会議が開かれ，委員の委嘱を行った。
- ・ 7月12日は，第2回教科用図書印旛採択地区協議会が開かれ，委員長とともに参加した。
- ・ 7月17日は，市議会の全員協議会が開かれ，給食センター統合事業の進捗状況を説明し，ご理解をいただいた。9月定例会議は8月29日に開会する。

4 教育委員報告

委員 7月17日，富里第一小学校で行われた読売新聞社出前事業による「ことばの授業」にゲストとして出席した。1時間目は NPO 法人企業教育研究会の司会進行により，読売新聞社記者がインタビュー・メモの仕方について授業を行った。クラス担任の先生を相手にインタビューの実演をした。2時間目は，5人1組がグループとなり，ゲストとして招かれた地元のいろいろな職業の人に対し，児童が1人2分の持ち時間で仕事に関する質問を2回行った。最初はとまどっていた児童も記者のアドバイスを受けて鋭い質問ができるようになった。その後，取材の内容を

模造紙にまとめて班ごとに発表を行い、記者が批評を行った。どの班もポイントとなること、必ず聞いてほしいという内容が入っていた。1時間目の授業内容を吸収して2時間目の授業に生かしていると感じた。改めて子どもたちの学習能力に驚かされた。この授業は子どもたちが言葉を使って聞いたり、書いたり、伝えたりすることで言語能力を高めることを目指したものであるとのこと。この日の授業の内容は、職場体験に行ったときの事業主に対する質問に生かされるなど、今後の学習に結びつけることができていると感じた。

河田委員長 7月12日、教育長と一緒に第2回教科用図書印旛採択地区協議会に行ってきた。事前に学校教育課長から説明を受けていたので分かりやすく進められたと思っている。

5 専決処分の報告

- (1) 行事の後援について（学校教育課）
- (2) 富里市情報公開及び個人情報保護審査会への諮問について（学校教育課）

國本教育長 報告第1号は、「第2回子ども料理チャンピオン」の後援について、平成25年7月1日付けで承認したものである。報告第2号は、富里市情報公開及び個人情報保護審査会に対し、平成25年7月5日付けで諮問したものである。

学校教育課長 報告第1号、行事の主催者であるKAZUSA京葉料理・料飲技能士会は、調理士等の仕事に就いている方が所属する公益社団法人日本全職業調理士協会を上部団体に持ち、昨年度は「第1回子ども料理チャンピオン」を開催、成田空港をテーマにしたオリジナルピッツァ作りの募集を行ったところ、約600程の応募があり、七栄小学校の児童が入賞した。今年度は、夏休みをテーマにしたカレー作りの募集であり、イラスト、レシピ、そのほか特徴を記述したもので応募する。

最優秀賞は、行事の後援者である成田エクセルホテル東急のランチビュッフェのメニューの一つに採用される。

報告第2号は、平成25年1月29日に教育委員会に対し自己情報の消去請求があり、当該消去請求に応じた情報と応じない情報があった。

平成25年5月16日に消去請求に応じないことは不当であるとの不服申立てがあり、平成25年7月5日に富里市情報公開及び個人情報保

護審査会に諮問したものである。

<質疑等>

質疑等なし

6 議案

河田委員長 議案第1号から議案第4号までを一括で議題とする。提案者である國本教育長から提案理由の説明を求める。

國本教育長 議案第1号は、平成26年度使用教科用図書の採択について、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第13条第4項の規定により、平成25年度教科用図書印旛採択地区協議会の選定結果のとおり採択してよろしいか、教育委員会の議決を求めるものである。

次に、議案第2号は、平成26年度富里市立幼稚園児募集要項について、教育委員会の議決を求めるものである。

次に、議案第3号は、社会教育関係団体の認定について、富里市社会教育関係団体の認定に関する規程第4条の規定により、社会教育関係団体として認定することについて、教育委員会の議決を求めるものである。

次に、議案第4号は、富里市社会教育関係団体の認定に関する規程の一部を改正する訓令の制定について、所要の整備を行うため、教育委員会の議決を求めるものである。

よろしくご審議の上可決されるようお願いする。

河田委員長 議案は個別に審議する。

河田委員長 議案第1号については、富里市教育委員会会議規則第10条第1項第5号の規定により、非公開としたいと思う。

異議はあるか。

— 異議なし —

異議なしと認め、非公開とする。

(1) 議案第1号 平成26年度使用教科用図書の採択について

<採決>

議案第1号は、賛成全員により原案のとおり可決した。

河田委員長 議案第1号についての審議を終了したので、非公開を解く。

(2) 議案第2号 平成26年度富里市立幼稚園児募集要項について（学校教

育課)

学校教育課長 10月16日から入学願書を交付して、市立幼稚園児の募集を行う。この案内を10月1日の「広報とみさと」に載せる関係で議決を求めるものである。浩養幼稚園の5歳児募集人数は、10名となっているが、定員25名中、現在9名が4歳児で在籍しており、年度途中の転入を見込み、来年度の5歳児募集を10名としている。

<質疑等>

委員 今年度の幼稚園は定員割れしているようだが来年の対策等はあるのか。

学校教育課長 今年度、浩養幼稚園は4歳児募集人数25名中、願書を取りに来た人が12名、受付に出した方が8名で8名が入園、5歳児募集10名中、願書を取りに来た人が4名、受付に出した方が1名で1名が入園、富里幼稚園は4歳5歳児募集人数70名のところ、願書を取りに来た人が80名で、そのうち73名が提出、3名の定員オーバーのうち1名は5歳児になる時点で転入予定であったので辞退していただき、残り2名はキャンセルがでたので希望通り入園となった。

向台幼稚園は募集人数35名中、願書を取りに来た人が34名、受付に出した方が25名で25名が入園した。

5月1日現在の在籍について富里幼稚園は、70名定員のところ69名、向台幼稚園は70名定員のところ4歳児29名、5歳児25名の計54名、浩養幼稚園は50名定員のところ4歳児9名、5歳児10名の計19名である。浩養幼稚園の定員に関し、今後の見通しとしては、浩養小学校に学童保育ができたため、浩養幼稚園から浩養小学校に上がる際には学童保育が用意されているということを保護者で考慮されて、浩養幼稚園を選んでいただけるのではないかと期待する。また、浩養小学校校長は、浩養幼稚園園長を兼ねており、幼少連携の研究指定校としていることから、浩養幼稚園を選んでいただける魅力としていきたいと思う。

<採決>

議案第2号は、賛成全員により原案のとおり可決した。

(3) 議案第3号 社会教育関係団体の認定について (生涯学習課)

生涯学習課長 7月9日に野菜料理を楽しむ会の代表者から社会教育団体

認定申請書が提出され、7月11日に開催した社会教育委員会議に諮った結果、認定にふさわしい団体であるとして本議案の提出となった。

<質疑等>

委員 申請団体の目的、活動内容については問題がないと考えるが、認定の申請書が9日、会則の施行が11日とあるが実際に今まで活動はされてきたのか。

生涯学習課長 委員指摘のとおり会則の施行が7月11日であり、活動の実績を調べたところ無いようである。

委員 社会教育関係団体の認定に関する規程によると、第2条第1号に「社会教育事業を計画的かつ継続的に実施でき」とあり、また、同条第4号に「団体の運営が確実になされていること。」と規定されているが、実績がない現時点でこれらの認定要件を満たせるものか。

生涯学習課長 認定要件である第2条第1号及び第4号については、活動実績がないことから認定を満たす具体的な根拠を示すものはない。

委員 団体の目的は良いことだと思う。認定に関する規程に沿うように半年なり1年なり活動していただき判断をすることとしてはいかがか。

委員 活動実績がない時点で、社会教育関係団体の認定をするのは早いと思う。

委員 団体の活動の趣旨は賛成であるので積極的に活動を続けていただきたい。団体の認定を行うには、もう少し実績を残してから再度行ってはどうか。

河田委員長 事業計画書の中に文化祭及びその他市主催の事業に積極的に参加すると記載され、団体の趣旨、目的はわかった。具体的にどういった活動をしていきたいかという話は聞いているか。

生涯学習課長 社会教育委員会議の際に団体代表者に出席していただき、会則、収支予算書、事業計画書に基づいた説明をしていただいた以上の話は聞いていない。

河田委員長 団体には今後こういうふうにしていきたいのだという、大きなビジョンがあって、その意思を伝えていかなければいけないと思うが伝達の意思が希薄であると感じる。団体の活動目的は素晴らしく、子どもたちの食育のために地域の大人が参加することについてはありがたいことで、教育委員会として協力をしていきたいと思う。しかしながら、認定に関する規程には「計画的かつ継続的に実施できる」と定められているので、社会教育団体の認定は早いと思う。半年、10か月程度の活動をみてから社会教育委員会議に諮り、本会議に団体の認定について提

案をもってきてもらいたい。

<採決>

本議案については、挙手にて採決を行う。

議案第3号は、原案のとおり決定することに賛成の方、挙手願います。

挙手なし。よって議案第3号は、否決された。

(4) 議案第4号 富里市社会教育関係団体の認定に関する規程の一部を改正する訓令の制定について（生涯学習課）

生涯学習課長 本規程には、認定に関する規定はあるが却下する場合の規定がなされていなかったため改正するもの。

<質疑等>

質疑等なし

<採決>

議案第4号は、賛成全員により原案のとおり可決した。

7 協議事項

(1) 平成24年度教育委員会点検及び評価（平成25年3月末時点）について（教育総務課）

教育総務課長 本日は、平成24年度教育委員会点検及び評価について協議いただきたい。指摘事項等があれば、修正した後に外部の知見者による評価を得て9月議会に報告するものである。外部評価を行う者は、国立政策研究所生涯学習政策研究部部長にお願いし、了承を得ている。

学校教育課長 情報モラル教育の推進では、親子携帯出前授業について8小学校中7校を実施したとあるが、残り1校が未実施ということではなく、携帯の使用についての指導を授業として行っている。次から次へと新しい機器が出てきているが、子どもたちには情報モラルの根本となる考え方をしっかり身につけるよう指導していく。体力向上に向けた取組では、いきいきちばっ子「遊・友スポーツランキングちば」への参加を呼びかけたものの、実施が1校であった。学力向上と合わせて体力運動能力の向上が富里市の学校教育の課題であると考えているので、今年度さまざまな取組をして改善に向けていきたい。幼稚園教員の指導力向上研修では、パソコン研修を行っており、プレゼンテーションに使えるパワーポイントやエクセルの研修を実施した。

いじめの問題の実態把握と取組について、平成25年3月末でのい

じめの件数は、小学校が73件、中学校は25件であった。

そのうち中学校は、すべて3月末で解消している。小学校の5件は解消していないが、内容を見ると低学年の子どもの人間関係などであり、担任が充分把握して調整を図っているという状況である。教科指導員制度の充実では、市の指導主事は主任を含めて4名であり、すべての教科について学校を指導するのは困難であるため、18人の先生を教科指導員に任命し、5年目以下の教員の授業力向上のために授業研修講師としての派遣目標を31回として目標回数を実施した。

学校給食センター所長 安全な食材選びと衛生管理の徹底では、洗浄した調理器具等をふきとって細菌検査を行うなど衛生管理を行っている。

地場産品の活用の拡大では、地元産の米を使用する米飯日の目標を95回として目標回数を実施した。現在は、小学校と中学校を交互に米飯を供給しているが新給食センターになれば米飯の供給回数を増やすことができる。地域の連携による食に関する指導の充実では、栄養士による食育指導を進めると同時に献立表の配布をしている。給食の残菜問題への取組では、献立に工夫をこらすなどのメニュー作りを行った。若干ではあるが残菜率を低下させることができた。食育などを進め、さらに残菜率を低くするよう栄養士とともに取り組んでいく。

<質疑等>

河田委員長 ふるさと学習の推進について、ふるさと学習CDを使用して勉強している子どもたち、先生方の反応、指導の仕方などはいかかか。また、副読本に関して改正の状況はどうか。

学校教育課長 副読本の改訂作業の準備を始めたところだが、ふるさと学習CDの内容との連携を図ることが効果的だろうと担当が話をしているので、是非その方向で作り上げて学校に示していきたい。

河田委員長 北部から南部にかけて地域性が違うので、例えば北部の子どもたちが南部の地域に興味を示せるような、富里市全体として興味をもって学習していけるようになればよいと思っている。

委員 7月17日富里第一小学校で行われた読売新聞社出前事業による「ことばの授業」では、記者が富里市の給食を食べ、日本で一番おいしい、本当においしいと言っていた。その言葉を聞いて、改めて学校給食センターでおいしい給食作りに努力された結果であると感じた。しかしながら、現実問題として給食の食べ残しがあるので大変であろうが今後も残菜の解消についての取組をお願いしたい。

河田委員長 携帯など情報モラル、食育、給食の残菜問題に関しても子

どもだけの問題ではないので、機会を見つけてP T A，保護者が学校に入ってきて、いろいろな状況を知っていただくことが大事である。

委員 英語教育の充実については、学校によっては本物の英語にふれあう機会が少ない、十分に確保されていないように見受けられる。学校によって英語教育の取組に格差があるのは心配である。どこの学校でも英語活動で学んできたことを実際に生かせる場面を確保できるよう教育委員会として手助けをしたい。また、不登校やいじめ等に対する支援体制の確立については、県からの交付金がなくなり教育相談員の派遣ができないとの記載がある。教職員だけでは気がつかないことを教育相談員の力を借りて、外部の立場から教えてもらうということがあるので、なんとか配置できないものかと感じた。

学校教育課長 A L T (外国語指導助手)の派遣回数が小学校によって違いがあることは委員指摘のとおりである。外国語活動の教科化に向けての動きがあり、そのタイミングで財政当局の理解を得て増員を図ることについて検討しており、A L Tが3名体制になれば小学校全体に配置をすることができると考え、3名体制について内々で調査をしている。しかしながら、すぐにはA L Tの増員が実現できないためコンコルディア大学の実習生を受け入れて、A L T配置の薄い小学校に重点をおきたいと考えている。英語教育の取組については、J T E (日本人英語講師)任せにしないよう学校に対する指導をしっかりとしていく。

心の教育相談員について効果が大きいと考えた学校によっては、特色ある学校づくりの予算を使って引き続き教育相談員の活動を継続している。来年度に向けて小学校の子どもたちの第三者の相談体制を構築できればよいと考え、どのような方法が可能であるか検討をしている。国の方針でスクールカウンセラーについては、中学校だけの派遣であったが、小学校に起きているさまざまな問題に対応して小学校にもスクールカウンセラーの配置について予算化され、県内にはいくつかの小学校に配置されてきているので要望してまいりたい。

河田委員長 以上で、学校教育課は終了する。

教育総務課長 学校施設耐震化の推進について、平成24年度は富里南小学校校舎の耐震補強工事の実施設計を行い、平成25年度は、夏休みに同小学校の工事に入っている。また、洗心小学校の実施設計を今年度行い、平成26年度をもって躯体(校舎)の耐震補強はすべての

学校で終わる予定である。平成25年度からは避難所になっている体育館の耐震対策を行うため、非構造部材の天井を撤去する工事を行う。

今年度は、日吉台小学校体育館の天井撤去工事を予定し、残りの7校について、引き続き計画的に工事を実施していく。遊具の安全点検の充実は、定期的に学校とともに遊具の安全確認をしており、不具合があるものは使用を中止し、又は禁止とし修繕等を行っている。

<質疑等>

河田委員長 遊具の安全点検について、学校側から不具合の連絡が来て、直しに行ったりすると思うが、年に1回又は何年かに1回すべての遊具を点検するのか。

教育総務課長 幼稚園、小・中学校において、遊具や鉄棒などを体育主任の先生、教頭先生などにより、毎週、点検確認をしていただき、学校にある点検簿に記録している。また、教育総務課施設班の担当が学校に出向き一緒に確認をしている。

河田委員長 以上で、教育総務課は終了する。

生涯学習課長 行政側で企画立案したものを受益者に対してサービスをする事業を行っており、すべての皆さんが満足していただける事業は決して多くないため、実行した事業を改めて評価し、改善に向けて一つひとつ努力をしているところである。

総合評価でAに至らなかった事業について説明する。

生涯学習アシスト事業の推進は、豊かな知識技術を習得されている方が講師となって伝えていくという事業で46人の講師、57講座の登録をしているが、平成24年度の利用は6件であった。活躍の場を提供するため、制度の周知について改善していく。放課後子ども教室の推進は、浩養小学校、洗心小学校、富里第一小学校の3小学校で実施した。その他の小学校では、英語教育の関係でワールドキッズ等を実施しており、根木名小学校、七栄小学校の2校が未実施であるため、設置されている学童クラブと連携し、実施を検討する。家庭教育の充実は、約1200名の家庭教育学級生が在籍しているが、実際の参加者は一部であり、239名の方が家庭教育学級を終了した。少しでも多くの方が参加できるようメニューや活動日などを考えていきたい。国際化社会に対応する子どもへの支援は、富里小学校、富里南小学校、日吉台小学校の3小学校区で運営委員会方式により、ワールドキッズ

を実施している。英語ふれあいDAYは、8月に小学生高学年を対象とした英語キャンプを実施、11月は外国人との交流会、2月には英語スピーチパフォーマンスコンテストを実施した。放課後子ども教室において、英会話のパートを設けているので、英語のふれあいについて取り組んでいこうと考えている。文化祭等の文化活動発表の場の充実は、文化祭の参加人数で1日当たり1,000人を目指したが696人であった。開催日数を増やしたため、延人数は前年度を上回ったが、若い方の来場者が少なかった。日ごろ、中央公民館を利用してサークル活動をしている方が文化祭に参加していることが多いため、高齢者層の参加が主になっている。若い方が参加できるように考えたい。

とみさとスポーツ健康フェスタの充実は、元々は市民体育祭を実施していた。学校区ごとの競技が難しくなってきたため、幅広い対象者が参加できるようなスポーツの日事業で始めたもの。参加人数を増やしていくようなメニューを考えていきたい。

<質疑等>

委員 国際社会に対応する子どもへの支援、とみさとザ・ワールド・キッズについて、平成24年度目標が6小学校区に対し、実績は富里小学校、富里南小学校、日吉台小学校の3小学校区であったが、以前は、もっと多くの小学校区で実施されていたと思う。活動していくことが難しいということか。

生涯学習課長 行政側がすべて事業を起こして参加してもらうのではなく、各小学校区の実行委員が企画して活動していく方式であるため、実行委員会が立ち上がってこないというのが現状である。

委員 実行委員会のない小学校に通う子どもたちが、実施している小学校区のとみさとザ・ワールド・キッズに入ることができるのか。

生涯学習課長 今年度、富里小学校と富里南小学校が実行委員会を単独ではなく、共同であれば実施できるということで事業を進めている。ほかの学校区の子どもたちを受け入れることができるかについては、実行委員会に聞かないとわからない。

河田委員長 マニュアルなど用意するものについては、歴代の運営委員が作成しており、充実していると思われ、負担なくできるのではないかと思う。地域の有志を集めて説明会を行うなど生涯学習課としてかかわっているのか。

委員 浩養小学校区の最初のとみさとザ・ワールド・キッズの立ち上げの際に青少年相談員に相談があったが、世帯数、児童数がかなり少な

く、運営委員をやってくれる人が誰もいなくて、結局は自分を含めた青少年相談員6人がとみさとザ・ワールド・キッズの運営委員となった。児童数の多い富里小学校、富里南小学校でさえも合同で実施をしているので、さらに小規模小学校では実施が難しい。運営方式を見直す必要があるのではないか。

生涯学習課長 運営委員さんを探しているのだが御協力をいただける方がおらず、立ち上げが難しい状況である。小規模小学校区でどうしたらよいかというと、放課後こども教室を実施しており、地域ボランティアの方に協力をいただき年間に10回ほど活動を行い、その活動日の中に「英語であそびましょう」というメニューを何日か入れて英語にふれあう機会を増やしていきたい。

子育て支援課で実施している学童クラブの中で英語にふれ合うことについて活用していこうと検討している。

河田委員長 以上で、生涯学習課は終了する。

図書館長 図書館が開館し10年が経過した。前年度から1,951冊増やし、176,126冊の蔵書数となった。同じ本でも新しい本を読みたい、借りたいということを求める傾向がある中、ニーズに沿ったものを厳選して蔵書整備を進めていく。ホームページへのアクセス件数が目標より下がってきているため、ホームページのリニューアルを検討している。今後は閲覧件数が増えてくるものと思う。

子ども向け事業の充実では、ブックトリップ事業が目標600名のところを90名上回る実績であった。満足する実績数であるが、子どもを連れた保護者が熱心に進めている状況であり、早さについて競われる傾向が見られる。事業の本来の趣旨としては、じっくり本を読んでもらうべき、その内容についてクイズ形式で本の内容を質問させていただく。早さを競う傾向については、何らかの改善が必要であると考えている。

ボランティアの育成・支援事業は、職員数が限られている中、ボランティアの協力を得て図書館運営を進めるため、ボランティアの募集、育成を進めていきたい。

<質疑等>

河田委員長 学童クラブであるとか、他の団体等に図書を貸し出す事業を行っているか。

図書館長 団体貸出しということで行っている。

河田委員長 図書館に行かなくてもいろいろな本を手にとって見ることのできる機会をつくってあげたい。

河田委員長 以上で、図書館は終了する。富里市教育委員会点検及び評価について協議を終了する。

8 報告事項

河田委員長 報告事項について、各課等から報告願う。

(1) 月例報告（各課等）

教育総務課

- ・ 8月23日に第2回学校適正配置検討委員会を開催する予定。
- ・ 8月27日に第5回教育委員会定例会議を第3会議室で午後2時から開催する予定。
- ・ 8月29日から9月定例議会が開かれる。

学校教育課

- ・ 7月25日は、市内小学校の児童が集まり富里市ミニバスケット教室が社会体育館で開催される。
- ・ 8月1日は、富里市教職員夏季研修会・教育講演会が行われる。
- ・ 8月5日から9日まで福祉センターで「きょうざん塾」を開催する。
- ・ 6月末現在の学校給食費徴収状況は、前年同月の徴収率を上回る。

学校給食センター

- ・ 7月17日で1学期の給食が終了している。
- ・ 7月31日に学校給食センター運営委員会を開催予定。

生涯学習課

- ・ 8月3日は、印旛郡市社会教育総合振興大会が栄町で開催される。
- ・ 8月4日から5日まで「英語ふれあいDAY」イングリッシュキャンプを開催する。
- ・ 7月6日に印旛郡市民体育大会が開会し、7月27日のバドミントン競技、28日の卓球の競技をもって終了する。
- ・ 7月22日の水泳教室については、前日に七栄小プールに侵入する事件があったため、参加者の安全を考えて中止とした。参加者の方に連

絡を取り混乱はなかった。7月27日の水泳大会については実施に向けて準備をしている。

- ・8月24日は、印旛郡市民体育大会総合閉会式が白井市で開催される。
- ・8月6日は、富里市で事業を行うものではないが、みちのくから、つながろう「未来（あした）への道 1000km 縦断リレー」が行われ、千葉県を通る8月5日から7日までのうち、6日に富里市を通過する。

主催は実行委員会方式である東京都スポーツ振興局，東京都陸上競技協会，東京都体育協会である。目的は，スポーツの力で継続的な震災復興をアピール，東京オリンピック・パラリンピックの招致である。7月25日～8月7日の14日間で，青森から東京まで1，150キロメートルをリレー形式でたすきをつなぎ，自転車とランを交互に行い，フジテレビで放映される。富里市役所と七栄小学校を中継所として協力提供する。ランナーの控え所，トイレ利用として使用するため，特段の費用支出はない。緊急時の対応として地元の消防に連絡を行う。

地元のPRとして産業経済課と確認のうえ，スイカのキャラクターをランナーに持ってもらおう。

河田委員長 ランナーに対して沿道応援をする必要はないか。

生涯学習課長 企画する電通の担当者，千葉県教育庁の職員と話をしたが，ランナーは国道296号線を車と並走する。道路の使用許可を取っているが通行止めではないため，コースに人が多いと安全面に不安がある。沿道応援など，市として積極的なPRは行わない。

図書館

- ・7月13日，夏のおはなし会に41人が参加，17日，洗心小で朝のおはなし会に全校46人が参加，18日から31日にかけて小学校6年生のゆめ・仕事びったり体験を受け入れている。24日，「としょかんたんけんたい」に9人が参加した。
- ・7月25日に図書館協議会が開催された。
- ・8月1日から20日まで，原爆写真展を開催する予定。
- ・8月2日，20，21，22，23日は，夏休み特別映画会を行う。
- ・8月18日に第2回富里歴史講座「旧岩崎久彌末廣別邸」を行う。

8 その他

(1) いじめ防止対策推進法の概要について（教育長）

教育長 今年の6月28日，いじめ防止対策推進法が公布され，いじめの防止等のための対策に関する基本的な方針の策定について，国及び学校は定める義務が生じた。地方公共団体は，策定について努力義務

が課されている。地方公共団体は、関係機関等の連携を図るため、学校、教育委員会、児童相談所、法務局、警察その他の関係者により構成されるいじめ問題対策連絡協議会を置くことができることになった。

基本的施策・いじめの防止等に関する措置として、学校の設置者及び学校は、行うべき内容が定められており、また、重大事態に対処し、発生防止のため調査を行うものとする事とされた。地方公共団体の長が重大な事態の報告を受けて、再調査することができるなどが規定された。国、県の教育委員会、市町村教育委員会、学校がこのような方針を基にいじめ問題に対応していく具体的な計画を立てることになる。教育委員会として国や県の動向を踏まえて、いじめ問題に対応していきたい。

(2) 教育委員会定例会議で委員の委嘱の年数について（教育長）

以前に委員会定例会議で委員の委嘱年数について可決したことがあった。

7月11日の社会教育委員会議を終えた後、委嘱年数が長い方がいたので、今後の委嘱について、団体推薦の在り方について配慮をしていただくよう話した。

9 委員長閉会宣言

河田委員長 以上で、平成25年度第4回富里市教育委員会定例会議を終了する。